夕刊
磐城新聞
十月三十一日發行
發行所 磐城新聞社
（日曜祭日翌日休刊）

鐵道紀念碑について伏見町長に

島田忠夫

伏見町長足下

小生は愚庵和尚研究に年來汲頭致し居る者に候て既に敬度、平町役場に伺ひ足下にも拜眉の榮を受けし者に有之候。扨て、今回玆に改つて申上たきは例の鐵道碑問題に御座候。ところで例のと申上ぐるも御多忙なる足下に於て片々たる小生の新聞記事等に目を曝し給はぬとあればそれまで故念の爲め申添候、今春小生は『いはらき』及び『磐城新聞』の貴重なる紙面を借して、『鐵道記念碑の行衛』などと題し、一文を草したき候。それは昔日、日本鐵道が初めて常磐線を敷設開通したる記念に、平驛前に丈餘の記念碑を建立せしものに有之候。さらに詳細に申上れば右碑文は號を珂北また北巖と稱せし野口勝一翁と撰文並に書、篆額は安藤侯にて尤も更に詳細に申せば篆額の書は碩學眞木水竹翁が揮毫せるものに有之候。何れにせよ、一代の文章家野口北巖翁の撰文の堂々たるは、玆に黄口小生如きが喋々する要も無之と存じ候。

伏見町長足下

小生が前に新聞に記せるも、實にこの碑面の行衞に御座候。いかに歎かざらめや、例へ日進月歩の昭和の聖代と云へども、苟くも一土地の文化史的意義ある碑面が平驛改築後行衞知れず小生ひそかに探ずるに、某邸宅の庭前に在るに至つては、地下の北巖、水竹翁等ひとしく慨嘆致し居る事まことに必定と存候。これ元々平驛改築の際の鐵道保線側の手落と云へども、鐵道の木つ葉役人技手どもに文化史的意義の價値何たるやには元より解し得るものに候はず所で同じくこの碑を町より消失しても餘り御關心なき平町當局に小生はいささか失望を禁じ得ざる者に有之候。

伏見町長足下

足下は現在平町長の榮職に在り日夜町務に營々督勵さるるを不肖小生等も仄聞するも、いささか足下に不滿を禁じ難きは、足下が平町の史蹟、史實調査の爲めにす少の關心だに無きが如き感あるを感知するが故にて、以上の苦言を申上候。

御座候。足下は郷里を相馬に持たるるときく故、平町舊史に同情うすき哉とは申上げまじきも、憾みあるは霰ひがたき小生の心中に御座候。いかに、さきに小生は愚庵和尚研究の爲め幾久しく平町を調査せるもかつて町當局より同情ある言すら聞かず却つて他の市町村より援助を受くる始末に候ひき。

伏見町長足下

足下に小生は依頼申上ぐ何卒例の鐵道記念碑を再び世上に存せしめ給はらむ事をと、御盡力たまへかしとあの地方文化史的由緒あるかつ又名文章として學的意義ある碑文を某家庭前の玩賞物より救ひ給はむことを若し足下及び平町に於てこの一碑面を長くかかる隱所に止むるに至つては、將來の平町文化史上に、一種の異彩を黜ずるを禁じ難かるべしと存候。乃ち、日本鐵道開通記念碑、某家家に在る久し云々と。

伏見町長足下

小生は『磐城新聞』を藉りしかし、決して苦言に止まらぬ意義有之べく、これは偏へに足下善處のあかつきに於て、その光芒を放つかと存じ候。謹而願上候。早々頓首

雜詠鈔（一）

篠崎松夫

對岸に一群の少女遊びをり川を渉りてゆきたくなりぬ

あきらけき月仰ぎつつ天文の月の定説を疑ひにけり

夕暮の崖に働く土方等に心憤み吾は通れり

砂濱に吾は來にけり現身にこもる憂鬱に耐え難くして

暖かき春の朝けに目醒めたり胸一杯に不愉快さあり

屋根の上の小鳥の醸すノスタルヂヤを吾は身ぢろぎて振放ちたり

時代警語（故花）

○不淨を以て淨を作り、廢物を以て生命を作る…………（みみづのたはこと）

○金銀珠玉は冥上の土產では無い…（寄生木）

○柱の釘は拔き去つても其痕跡は殘る…（同）

○藥は灰となり易いが熱した石は容易にさめない……（黑潮）

○煙はいぶせき藥屋より出でても然も天に上る…………（自然と人生）

11月1日

△錢貨富壽神寶を鑄る、錢文嵯峨天皇御宸筆（弘仁九）△聖上明治神宮競技へ行幸（昭和四）△臺灣償金五千萬兩を淸國より納む（明治二七）△アントニオ、カノヴァ生る、伊太利の彫刻家の天才也（紀一、七五七）△藤原俊成歿す、年九十、有名なる歌人藤原定家の父にして『歌の佳所は自然にして味あるにあり』と叫んで和歌界革命の第一先鋒となりたる人也（元文元）

拈華微笑

◇簡易保險を賴つて簡易に行かなかつた平水道部の借金

◇檢査を勵行してボロ自動車の存在は之れ如何に

◇吾人共同の敵。平署管內で三年に卅萬圓をフイにした祝融子

◇秋刀魚と云ふのが無いので氣が揉める漁師連

◇霜月。小夜のくだちに厚布團欲しくなる

○……○

〔一日一禪〕

隔山見烟便知是火

隔檣見角便知是牛

○

講談　俠艶 女長兵衛（五四）

東京 斯波南叟

（魚崎潮畫）

コブ留の子分の竹松が熊五郎の出るのを見て跡を付ける、スルト淺草田原町の女衒の丹波屋助次郎の家へ入る、纏て助次郎と女房のお三と熊五郎の三人連れで出掛ける其の行手を突止めると根岸の御行の松……其の手前に佁菓子を賣る婆アさんの家がある、ケチな店だが其處へ入つて何時まても居ります、竹松歸つて來て其由を、コブ留に話しをすると、留『ハ、ア判つた、夫ちやア熊の野郎相手の長兵衛を殺すのに人手を借ちやア男が立たねへ、一旦俺に賴んだが是れは自分の手でやると決心したのだな、イヤ夫でこそくま五郎だ賞ア盃を取つて呉れと泣く樣に賴む、カラ意苦地のねへ野郎だ、其んな奴とは如らずに弟分の盃を呉れたが是りやア飛んだ馬鹿野郎を身內にしたと後悔した、それがためオイ夫と好い返事をしなかつた、其處へ氣が付いて自分自身で仕返しをすると成つたなア流石は虎の二五郎だ好い處へ氣が付いた是れでこそ兄弟分の盃をした甲斐があつた、よし然う決心したのなら、イザと云ふ時には俺も出張つて幾らかの助けをして遣る』留藏はお三と云ふ樣な女が己れの色慾を果す餌さの積りで、熊五郎をおだて上げたとは存じませんから大きに感心をして子分の中でも腕の好い二三人には內々其時の用意をし、始め氣が進まなかつた仕かへしに、乘氣がさして來たのは妙なところへ響きが入つたものでございます、其內十二三日は夢の中に過ぎた、或日。熊『兄貴』留『なんだ』熊『今日はチト出て來てへと思ひやす』留『毎晩出て居るちやあねへか、格別斷る事もあるねへ』熊『夫れが何んです、都合に依つちやあ二三日泊り掛けになるかも知れません、今一寸湯に行つたかへりに魚新の店を覗くと、素晴らしい生の好い鰹が來て居たんでね、大きなのを一本買つて片身は刺身に造らして來やした兒貴と一杯飲みてえと思ひましてね』留『然うか、夫れやあ御馳走だ、ちやあ飲むかな、二三日手前と酒を飲まなかつたから……オイ竹や鐵や酒の仕度をしねへよ態が鰹を買つて來たと云ふから』と何氣ない態だが留藏は流石に親分だけの器量のあつた人間、早くも熊五郎の意中を讀みました……趁りやあ愈々今夜あたり仕かへしに行くのだな、聽けば根岸の長兵衛と云ふ奴は餘程出來る腕前である上に此頃は內弟子と云つた樣なものも大勢居る、迚も毆り込みは掛けられまい、多分長兵衛の外出が判つて、何處か出先でやらうと云ふのだらう、夫ならば兄弟のよしみ野郎に知らさず人數を繰出して、叶はぬ時には助け出して遣らう……斯うは思つたが色には出さず、氣持良く飲まして出してやりました、是れが午後の三時頃直に子分をすぐり立つて十五人、大川の三五郎、川越の萬助、橋場の喜太郎、此の三人がコブ留の左右の腕でございます、勿論子分殘らず寄せれば七八十人はあるが、長兵衛の出先を襲ふのだし、相手は小人數だからと高を括つたのでございませう、何れも草鞋脚絆足仕度を充分にして、時刻の來るのを待つてゐる、例の竹松といふ奴が熊五郎の動靜を探りに出て居る、丁度日が暮れて間のない時竹松飛歸つて『熊五郎親分は竹屋の渡しを渡つて向島へ乘出しました、行先は枕橋の邊らしうございます』と注進 留『ソレ乘出せ…』と一同のもの、旅刀を一本づつ極め込み襷の用意に及び、働きの好い樣に身輕の出立ち、宵暗に乘じて忍び忍びに出る、多人數一緒では早く敵方に悟られるとの覺悟でございませう、何しろ多人數の命知らず如何に長兵衛が腕が冴えて居ても[illegible]丈のものを向ふに廻したのでは……殊に不意打ちと來て居るから堪まつたものでありますまい、長兵衛必死の大難……。

ラヂオ

一日（日曜）… 仙臺ＪＯＨＫ

△前九、〇〇Ａ 氣象通報

△九、一〇Ａ 榮養料理（牛肉のつくめ煮）榮養研究所

△九、三〇（子供の時間）お話と合唱 一、（た話何故二高生は蜂の徽章をつけてゐるか第二高等學校生徒大沼孝志 二、合唱）

△一〇、〇〇Ａ 子供會 東京日日新聞社主催

△正午Ａ時報 氣象通報 今日午後の番組豫告 告知事項

△〇、三〇Ａ ニユース

△一、三〇・六、〇〇Ａ 運動競技（第六回神宮體育大會…六大學新人野球試合狀況）

△〇、四〇Ａ ラヂオトーキー（カラマゾーフの兄弟！』ドストイエフスキー原作 脚色…大野道夫（右野球なき場合）

△一、三五Ａ 現代映畫劇（青春圖繪）菊地寬作、池田忠夫脚色

△二、三五Ｂ 時代映畫劇（新譯辨天小僧）原作倉谷勇、日活時代劇部

△三、四〇Ａ 氣象通報

△三、五〇 經濟市況

△六、〇〇Ａ（子供の時間）物語（美はしき旗手）酒井眞人

△六、三〇Ａ 修養講座（慈悲の敎に就て）信州善光寺大本願上人大宮智榮

△七、〇〇Ａ ニユース 氣象通報 告知事項 番組豫告 生繭相場

△七、三〇Ａ 漫談（スポーツ秋の陣）井口靜波

△八、一〇Ａ 三曲（一、四季の眺 二、みだれ）

△八、四〇Ａ 歌澤（一、木曾 二、茹萱）

△九、〇〇Ａ 常磐津（お染久松）

△九、四〇Ａ 時報 氣象通報 番組豫告 生繭相場

藤田女學校展覽會とバザー
一、期日 十月三十一日（午後一時より四時迄）十一月一、二日（午前八時より午後四時迄）三日（午前中）
二、種目 各種手藝品（三千餘點）1編物 2織物 3一般手藝
藤田女學校々友會 平町田町（電話三三八番）

吉田眼科病院 平町紺屋町

無効返金藥（二ヶ日内服効なき時は殘藥引替全部返金す）
別府溫泉で名高い岩里家の家傳秘藥
登錄商標 岩里別府淋藥
知名新聞（東京朝日、大阪每日、東京日日、富士、講談俱樂部、實業之日本、主婦之友、及全國知名新聞廣告御參照）雜誌推奬
人迷せの賣藥多き中に別府市鶴水園岩里天然堂家傳別府淋藥は古來家傳秘藥にして男女血ウミ、痛コシケ、消渴、不思議に止り連服するも絕對胃腸障害なき名藥である、尙同藥は責任ある速効藥にして二日內服効なき時は殘藥引換に全部異議なく返金す急性慢性惡性治らぬ人は七日のまれよ、申込次第新品送藥す。◎淋病治療書數十頁の美本無代進呈（此の新聞名記入申入者に限）
藥價 急性用（黑箱）一週分 三圓 慢性頑固惡性用（赤箱）一週分 五圓（送料前金無料代金引換廿三錢）
別府市中濱町 岩里天然堂
特約店 渡邊いと（平町三丁目舊郵便局裏）

夜間診療
胃腸 十二指腸虫病 內科 專門 內科部
梅毒 淋病 皮膚病 婦人病 專門 外科部
松村胃腸性病科醫院（平南町電話一〇七番）

耳鼻咽喉科專門 日本醫大院長醫學士 鈴木正男
齒科口腔外科 日本齒科科長醫學士 鈴木喜政
下谷區入谷町二九一 入谷改正通り東交番前
鈴木醫院

耳鼻、咽喉科、氣管、食道科、專門
平町南町（元眞木辯護士跡）
增田耳鼻咽喉科醫院 電話四八二番
（入院隨意）

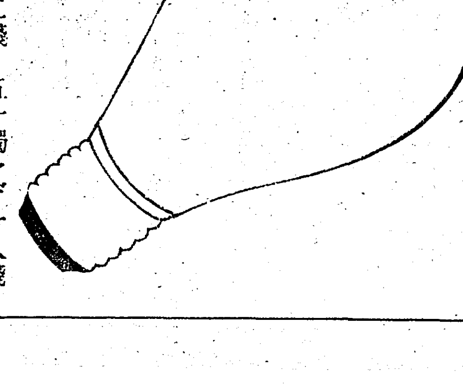
東北ヒヨケの元祖
防水布製 ヒヨケ。テント シート。雨合羽 カーテン。各種
此のセキニンバンに御注意を願ひます。
常ニ品質ト技術ニ精進。間斷ナキ改良
近頃弊店名儀をたくみに利用し受註する者有る故御注意を願ひます。
平町六丁目大通り
敷島テント商店

度量衡計量器
吸入用酸素
酸素吸入器
関内藥局

內臓外科 外科一般 花柳病科
入院隨意 自炊の便あり
平町田町赤心堂病院跡（電話四七五番）
安齊外科醫院
看護婦募集

貸切ノ御用命ハ
イツデモ眞先ニ（松崎ニ）
三九二タクシーへ（デンワ、ミクニ）

ガス入電球ノ値下ゲニ
次グ又値下ゲ



十燭以下十二錢…五十燭マデ十八錢
御電話ガアレバ屆ケマス。
平三 大谷時計病院 眼鏡科
電話十九番

當て込んだ十萬圓の起債に一頓挫を來す
想ひ設けぬ簡保側の態度に
平町水道委員會で對策協議

平上水道擴張工事は近來漸くその終期末に入ると共に功程著しく進捗し町當局をはじめ一般から其の完成を期待されつゝあるが當面の支出に充つべく過般來當て込んでゐた十萬圓の起債が豫期通り順調に行かず差し當りの經理に關し些か頓挫を來したものゝ如くである、即ち町では今三十一日を期限として農工、常磐兩支店から借り受けた各二萬圓宛合計四萬圓及び鐵管代二萬圓其他釜屋商店へ拂ひ込むべきセメント代七千圓等大口のみにて約七萬近き確定債務あり、之れに充當する爲簡易保險より十萬圓の融資を仰ぐべく夫々手續してあつたので曾て內務省關係の廻借當時何等の面倒なしに調達出來た前例に鑑み愈々支出の必要に迫つた昨三十日を期し伊坂水道課員が出仙當局より之を引出さんとした處が先方ではまだ之に應ずる事に確定してゐなかつた爲め玆に一大見込違ひを來したもので町では早速之れが對策協議の委員會を開催するものと觀られてゐるが時恰も酒造税の納期に際會し地方の金融界はさらでだにより多くの現金を必要とする矢先とて果して急速に好個の調達方法が發見されるかどうか其間頗る懸念無きを得ざるものがある

平第三小學校 奉安庫
縣へ認可申請中

平第三小學校では御眞影奉安庫建築認可方を縣へ申請中であるが更に昨三十日同奉安庫に御紋章描出の認可方を申請した

事故頻發に鑑み飽く迄嚴重を期す
―四日の自動車体檢査―

平署管內の自動車体檢查は四日から五日間八幡小路グランドに於て執行するが最近郡下に於ける車体は數年前に較べ急進的に車体の改良が行はれ大体遺憾無きに近いものあるが其筋で常に神經を惱ましてゐる事故の多くは車体の構造設備の不完全と運轉手の不注意に起因して居る處から今回の定期檢查に於ては外部の体裁は勿論構造設備中苟も不備の點あるものは毫も假借なく之を改繕せしむる筈で一層檢査の嚴重を期する方針であると

可惜煙にした金が一ヶ年約十萬圓
平署管內既往三年 火災統計

此程成表した平署管內既往三ヶ年間の火災狀況を聞くに

年次	度數	戸數	死傷
三年	一四	三〇	八
四年	一九	九三	八
五年	一八	一八	五
計	五一	一四一	二一

(損害高)三年八萬一千五百五十七圓、四年十五萬三千二百八十八圓、五年四萬八千百六圓、合計二十八萬三千三百五圓の巨額に達してゐるが右の內一昨四年の燒失世帶が多くなつてゐるのは鹿島村に大火があつた爲で更に之を町村別に見ると平十二、內鄕六、平窪四などが主なるもので消防施設の完備各自の警戒に因り數年前と比較すれば發生損害共に減少を見てゐる

平署管內 組頭會議
委員改選其他附議

平署管內組頭會は昨三十日午前十時から平署會議室で開催石城消防協會々則施行細則制定の件を可決次で委員改選の結果左記諸氏を擧げ了つて各町村毎に秋季檢閱執行の件及健康增進週間に關する件を可決した

(委員)井上茂作(平)若松惣太郎(磐崎)加澤一造(江名)鈴木喜太郎(高久)草野正壽(上小川)叶田清(好間)阿部佐平(永戸)

秋刀魚漁悲觀
潮流關係其他に就て
江名漁組が調査

郡下各濱では今秋の秋刀魚漁獲に依つて不況の欠損を補塡すべく夙くより大意氣込であつたが例年ならば既に最盛期の昨今殆どその漁獲ないので之に氣を採んだ江名漁業組合では過般來カイ游狀況を調査中であつたがそれに依ると過般千島北海道沖に現れた魚群が潮流關係で未だ當海岸にカイ游せぬものと判明したが晩秋の今日或は此儘に終ろではないかと觀測されるに至つたので漁業家は極度に悲觀してゐる、尙ほ之れが爲平町市場では最近一尾二錢から三錢の高價を呼ぶに至つた

郡下を一丸とした 養蠶業組合創立
◇けふ創立發會式

新法に依る養蠶實行組合の設立に就ては郡養蠶同業組合が主となり過般來郡下各町村各種團体並養蠶家と提携奔走の結果豫定の百二十組合を遙かに凌ぎ百五十組合に達し近日中何れも登記を了する事となつたが該組合の統制に關し酒井猶次(平)志賀甫彌(鹿島)芳賀吉太郎(川部)白井菊藏(下小川)高萩正一(永戸)五氏發起となり組合を一丸とした養蠶業組合を創立すべく今三十一日午前九時から平各種團體事務所樓上で創立發會式を擧行し了つて會則制定役員の選擧をなし午後四時散會した

平町新風景
アンダライン 注意線の愛嬌
車內へ置き忘れた愛慾萬能主義の讀み物

ステツキ、帽子、下駄、風呂敷包、同上、同上、手提袋、傘。――平驛待合室のボールドに書かれた今朝現在のなまく〳〵しい忘れ物なんです昨今に於て尚然りなんだから、心神頓に弛緩する土用中なんかはモツトモツト澤山あるんです。

〇

殊に春先きの襟卷手袋。秋ぐちの扇子――と云つた具合に、漸次所謂使用價値が薄らいで來たものになると尙良く忘れたがるのは、些か倦怠期に入ると曾ては死ぬの生きるのつて騷いだ相手さへ忘れる人間の習性として寧ろ不思議は無い位なんです。

〇

少くとも平驛位になると出入の乘降客が多い丈けに待合室や中ボームのベンチやここ止りの列車內や其等から發見される忘れ物は日每夥しい數に上つて持ち主が判らずに了つた分は僕に詰めて平署の方へ引渡すんだが數の內には隨分奇拔なのがあるらしいんです。

〇

スピード、アツプの時代丈けに汽車旅行を利用して讀書する人が多い當然の結果として雜誌や單行本の置き忘れなんかも可なりあるらしいんです。而も中にはポケツト論語や菜根譚なんてのもあるが次の樣な愉快なのもあつたらしいんです

――歲若い寡婦の禁慾や無勢力の夫を持つた婦人がヒステリーに惱る事がある其他婦人がその性器の一部クリストリスの異常なる發達が絕へず刺戟を與ふる事から獨身の婦人がヒステリーに惱る場合も亦尠しとせぬ――。

〇

赤鉛筆で克明にアンダーラインが引かれて讀みさしの儘になつてたんです。惟ふに性的魅惑に富んだ雜誌名に釣り込まれて上野の賣店で求めたそれが無上に面白く上野平間を一瞬に過ごし、そのクライマックスに達した處で平に着いて了つた人が吃驚して下車間際に忘れたのに違ひなからうと云ふんです。鐵道關係方面に現はれた御愛嬌の平町新風景なんです。

街頭の奉仕
二ヶ所に公德箱

平町五丁目日本公衆課では去月磐中校友會、平第一、平陽、山崎合名會社等の二十七ヶ所より寄附金を求め此程才槌小路縣社下及大工町に箱を設け傘、提灯、オキシフル、自轉車の空氣入れ其他を整へ公衆の利用に備へてゐると

山田地內道路改修認可
田人、川部から植田へ
搬出入の難澁救はる

山田村大字富津字前鯨外二地內道路は田人、川部の諸村から植田町に通ずる同方面の重要路線であるが林產物農蠶の搬出諸物資の搬入等に就き路面狹隘に加へ屈曲甚だしく其間頗る難澁を見てゐる爲地元關係住民から平土木監督所を通じ改修方認可申請中の處今年度事業として一昨二十九日附認可されたが右は現在の幅員三米延長五百五十六米八を四米〇八に擴張するもので總工費千五百八十圓を要し近く着工する事となつた

〇〇〇〇〇〇

手工科巡回指導 縣手工科視學委員會津工業學校敎諭常木新藏氏は今三十一日平第一小學校に於て午前九時より高等一、二年生の手工科視察指導を行つたが郡內各學校敎員約四十名の參觀で頗る盛會であつた

兒童作品陳列
磐女では來月二十九日の生徒成績品展覽會に陳列すべく郡內各小學校尋常五年以上の習字、圖畫を一校一幅に調製提出方を依頼した

郡下六百の兒童
明日愈々爭霸戰

明一日午前九時より磐中グラウンドに於て開催される石城郡下六十六校約六百名の兒童競技會プログラムは左の通りである

(トラツク)

五十米(二回)百米(七回)四百米繼走(四回)八百米繼走(三回)(決勝戰同回數)

(フイールド)

バスケツトボール投(八回)走巾跳(五回)走高跳(二回)三段跳(二回)

尙ほ小第三校出場選手(第一第二は昨報)は次の通り

(五〇米)五年高野弘子(バ球投)鈴木ヒデ(四百米繼走)高野弘子、鈴木ヒデ、荒木トキ、今田操武田龍子(バ球投)鈴木福壽(四百米繼走)國井武三鈴木福壽、吉田喜造、難波一郎、馬場一夫(五〇米)五年野木鋭子(バ球投)鈴木きみ子(四百米繼走)野木鋭子、千葉スミ、石井君子、堀江光子鈴木きみ子(百米六男)瀨戸利雄(バ球投)安孫子義秀

平町會議事堂
投書歡迎

◇町役場も愈々お引つ越しをするそうだが、澤山な金をかけず氣分の良い處へ移れるとなれば吾々町民としても一と安心と云ふものだ、どうぞ馬力を掛けて事務の能率を上げて頂き度い處で之亦新陣容を整へた町會議事堂だ。

◇元來新議事堂たるや古材料を基本として建てた以上所謂鶯と烏が集をくつて白いヨもあり黑いヨもありを塗り潰して當座の體裁を作らねばならぬ必要上己むを得無かつたかも知れぬがアノ色はモ少し何とかならなかつたものかと思はれる

◇町政は飽く迄公明であらねばならない、その議論を縱横上下する最も氣分の明朗快適を必要とする場所に配するに陰謀と掛け引のシンボル見たいな黑を以つてした事は一寸考へ物だ。

◇恐らく例の豫算と云ふ奴に祟られた結果とは重々お察しするが一町民の愚見として敢て賢明なる關係方面の一考を煩はす所以である(〇丁目次期町議候補者)

磐女組辛勝
昨日の對磐中庭球

磐中對磐女の敎員庭球試合は昨三十日午後二時より磐中コートに於て開催二十對十八で磐中辛勝し次に一勝者戰に入り結局鈴木、大內組優勝し磐女辛じて氣勢を吐いた五時閉戰した

磐女　　磐中

(酒井 永島)○○○○―○○(根本 中島)

(田中 佐藤)○○○―○○○○(佐々木 來五)

(中川 土岐)○○○―○(河野 下平)

(新妻 山口)○○―○○○○(今 飯田)

(日野 山崎)○―○○○○(梅森 髙橋 淸水)

(穴井 志村)―○○○(根本 橫井)

(鈴木 大內)○○○○―(夕尾 大村)

磐陽野球 リーグ戰
期日及組合せ

磐陽野球後援會主催の平在住チームリーグ戰は左の通り磐中球場に於て行はれる

(七日)磐中對平商(八日)遞友對商業、鐵道對磐中鐵道對平倶、平倶對磐友(十四日)平倶對商業(十五日)鐵道對遞友、鐵道對商業

青年校優勝
青年校對佑賢校の庭球試合は昨三十日午後二時半より青年コートに開催三對二で青年捷つ

青年　　佑賢

(鈴木 平崎)0―3(小林 綿引)

(猪狩 平崎)0―3(佐藤 遠藤)

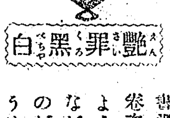
(柴野 大橋)3―0(小林 綿引)

(涌井 小菅)3―0(庄司 酒井)

(狹山 村上)3―0(田久 松本)

平女子青年團總會
明後二日開催

平女子青年團の秋季總會は明後二日午後〇時半より平第二校に開催團員の意見發表並大江家政學院長の講演あり令旨奉答歌女子青年團歌の練習、餘興の活動寫眞を催すと



艷罪黑白

◇『吉田通れば二階から招ぐ』でなく新田町通れば窓から招ぐそれが『しかも鹿の子の振袖が』なら好いが、晝過ぎなのに寢卷姿で、河馬のような欠伸をしながら甘そうなのが通ると『どうせそうでせう』てな厭味たつぷりを浴びせられるんだから溜らない◇『新田町通れば窓から招ぐ、しかも寢卷の亂れ髮』なんかは恐れ入るネ◇炭俵に烏が止まつたみたいに小さい身體にデカイ島田をのツけて步いてるあの子は近頃男さへ見ると色キチガヒが附け文されたようにニコ〳〵してるので客の方が惧ね上つてるそうだ

□□□□□□

木炭檢查員增置 濱三郡木炭同業組合理事會は今三十一日富岡町に開催十一月から平、小高、小名濱の三町に臨時檢查員を增員の件を決議した

□□□□□□

菅波敎諭出席 磐女菅波敎諭は大阪に於て開催される博物協議會に出席の爲一昨二十九日夜出發來月五日歸校豫定

□□□□□□

第二校母の日會 第二校では明一日の母の日に各組に於て孝悌の道に就ての講話をなし尙ほ二日は生徒の善行を調査すると

□□□□□□

第三校唱歌會 昨三十日午後二時より講堂に於て唱歌會練習會を開催した

□□□□□□

暖房送汽試驗 平驛では明一日より三日まで常備客車暖房送汽試驗を行ふと

〇〇〇〇〇〇

森林法違反檢擧 赤井村大字赤井字常住平澤竹松(五三)は去月中同字地內の附翌制限地山林を開墾し森林法違反として今三十一日平署の取調べを受けた

〇〇〇〇〇〇

保安林から盜む 赤井村大字赤井炭城仙臺炭礦坑夫吉田市藏(三五)同渡邊守(三九)の兩名は去月中同村第一共有財產保護組合所有の保安林から杉立木一本價格五圓を盜伐した事此程發覺昨三十日平署に檢擧された

〇〇〇〇〇

捕賊に助力し 其筋から表彰さる

內鄕村大字宮伊藤吉三郎同村大字高坂太田崇一兩名は先般同村地內の窃盜現行犯逮捕の際平署員に助力した廉により今三十一日其筋から金一封を贈られた

平町慶弔錄

△出生 南町一四秋本政之二男利之

△婚姻 鎌田町五二髙橋寅治(三四) 東白川郡竹貫村大字竹貫八二森スエ(二八)

上田外科醫院
院長 上田耕作
平町南町電一二九

光輝燦然!今シーズンを飾る
本邦映畵の帝王篇同時公開!!!
パラマウント特作大喜劇フランクタツトル監督
大喜活劇 猿飛カンター
エジイカンター クララボー 主演
新興キネマ提供…大佛次郎原作少年倶樂部連載
山嶽黨奇譚 鞍馬天狗 完結篇
嵐寛壽郎 主演
東亞キネマ超大作時代劇…仁科熊彥監督作品
都一番風流男
嵐寛壽郎…主演 岡田靜江、木下双葉…共演
近日來演決定御期待を乞ふ說明界の大權威 生駒雷遊氏
レヴュー界の名星……木村時子孃
三十日ヨリ
入場料 大人卅錢 中等學生十錢 小人五錢
有聲座 電四四六番

お醬油は……ヤマフル
味噌 醬油 たひら正宗 鰹節 食料品
鹽屋 山崎合名會社
福島縣平町
電話(營業部一〇番 本店二七番)

診察時間繰上
◎受付 午前七時より
◎宅診 午前八時より
但し急患者は此限りに非ず
內科一般
(入院需に應ず自炊の便あり)
醫學博士 難波睦
難波醫院
平町新川端(釜屋新宅向)
電話五〇二番

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店
金物問屋 和洋銅物
(久) 釜屋商店
磐城國平町五丁目
電話九九番
振替貯金口座東京一〇九五六番
確實敏捷は(久)の生命なり

產科 婦人科 花柳病科
午前宅診 午後往診 入院應需
井阪醫院
平町田町(元合津醫院跡)
電話五五九番